

一関市社会福祉協議会



一関市社会福祉協議会川崎支部

一関市川崎町薄衣字諏訪前137番地
(川崎農村環境改善センター内)

TEL : 0191-43-4323

FAX : 0191-34-4040

発行 : 令和5年10月

川崎支部だより

白熱！笑顔も溢れる♪



卓球バレー交流会

一関市社会福祉協議会川崎支部では8月5日、障がい者交流事業として川崎体育センターを会場に卓球バレー交流会を開催しました。本交流会は、障がい者と地域住民、支援者が相互の親睦を図り、障がいについて理解を深めてもらおうと昨年に引き続き開催。川崎町内の障がい福祉サービス事業所「ワークジョイかわさき」、「工房てんとう虫」、「やさいサラダ」の3施設と、千厩町の「千厩ワークプラザ」の利用者、スポーツ少年団や地域住民約80人に参加いただきました。

卓球バレーは、1チーム6人制でイスに座った状態で卓球台を囲み、板状のラケットでボールを打ち合います。

参加者からも「座ってやれるので楽しかった」「暑さも忘れるほど夢中になった」と声をいただき、参加者全員が和気あいあいで笑顔あふれる交流会となりました。



【この広報は、皆様からお寄せいただいた共同募金の配分金の助成を受けて発行しております 🍎】

令和5年度

川崎地域敬老事業



令和5年度の敬老事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による健康面、安全面を考慮し敬老会は行わず、自治会長等からのご協力いただき、80歳以上の皆様に当祝者記念品、88歳を迎えられる皆様には米寿祝品をお贈りしました。

多年にわたり社会に貢献されてこられた80歳以上の皆様に敬愛するとともに、皆様のご健康と長寿をお祝いいたします。

祝 長寿

【令和5年度対象者数】

- 令和5年8月1日現在 -
(令和5年度末年齢80歳以上)

◇当祝者数：601名

男：213名 女：388名

◇米寿：38名

男：11名 女：27名



長寿者番付表は、年度末年齢で85歳以上の方を掲載させていただいております。
※作成にあたり、事前に同意いただいた方のみ掲載。

泉沢自治会の金今孝之自治会長から米寿を迎えられる菊地光子さんへ米寿祝品を贈呈。

光子さんに長寿と健康の秘訣を伺うと、「家にばかりいると、次の日は調子が悪い。とにかく動くこと、草刈りでも何でもいからね」と話してくださいました。

【当祝者全員記念品】

- バスタオル(一関市)
- 手ぬぐい/ほど芋茶(川崎地域敬老事業実行委員会)
- 長寿者番付表(一関地区法人会川崎支部)

【米寿祝品】

- 肌掛け布団(一関市)
- ひざ掛け(一関市川崎町女性協議会)
- くつ下(一関市商工会議所女性会川崎支部)
- お祝いメッセージ(川崎中学校/2年生)



「ふれあいの集い」
 生活の知恵を蓄え、
 笑い溢れるひと時

7月27日、ひとり暮らし高齢者などを対象とした、川崎農村環境改善センターを会場に「ふれあいの集い」を開催しました。

集いには、地域の民生委員を含め23名が参加。講話では、菅原薬局(一関)の高橋諭薬剤師から薬のあれこれ豆知識として、薬の正しい保管方法や「何で飲むか」などを学びました。



-笑い-
 引っ張れば引っ張るほど出てくる布。最後に出てきたのはなんと……!!(笑)



-驚き-
 口の中にどんどん飲み込まれていく剣!!!
 だ、大丈夫!?

マジックショーでは、一関マジックの会が、ワッと驚くマジックからお腹の底から大笑いするマジックまで、多種多様なマジックを披露しました。

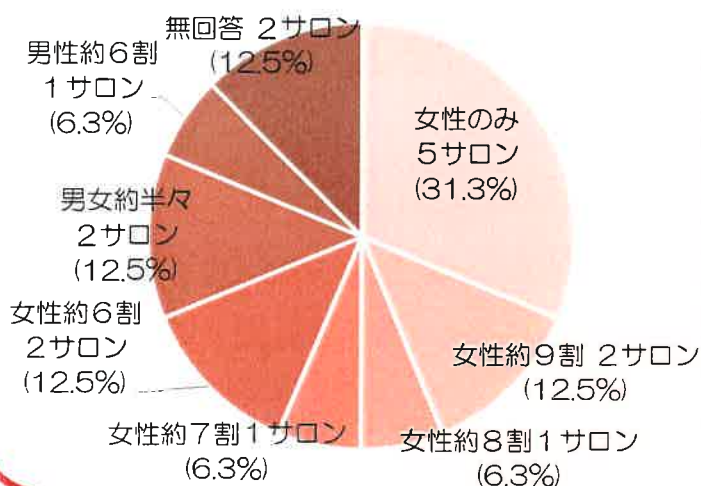
参加者からは、「久々に懐かしい顔に会えてよかった」「今までにない笑いで楽しかった」などの声をいただきました。



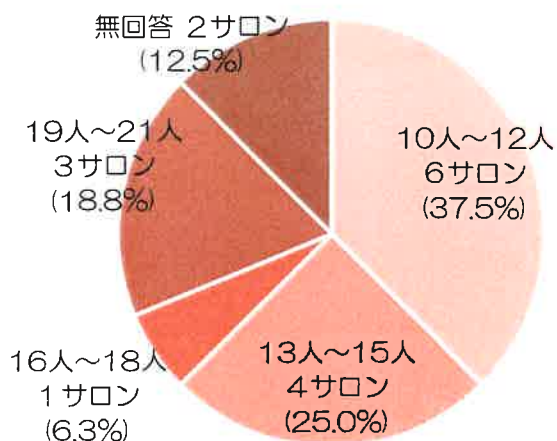
川崎地域「ふれあいサロン実態調査」の結果 ②

令和4年11月にふれあいサロン実態調査を行いました。(サロン数16サロン)
 前号に引き続き、調査結果を掲載いたします。今回は、参加者数と男女割合です。

Q およその男女割合は?



Q 参加平均人数は?(R3実績)





赤い羽根共同募金

私たちの住む町には、お年寄りや障害のある人、子育て中の人など助けが必要な人たちがいます。みんなが暮らしやすくなるお手伝いをするために、**みんなでちょっとずつ寄付**すると、より多くのお金が集まり助け合いにつながる。それが「赤い羽根共同募金」です。皆様のあたたかいご支援ご協力よろしくお願ひします。

赤い羽根共同募金

～じぶんの町を良くするしくみ～

取組期間：10月1日～3月31日

[R5.目標額 722,000円]

(1世帯あたり 目安額：600円)

募金の約60%が一関市内全域で行われている地域福祉活動を展開するための費用と一般公募助成「地域の支え合い活動応援事業」に役立てられます。また、約15%は、岩手県内の民間福祉施設の施設整備に活用されるほか、災害時のための災害準備金として積み立てられ、約25%は共同募金運動を推進するための事務費として活用されます。

歳末たすけあい募金

～つながり ささえあう
みんなの地域づくり～

取組期間：12月1日～12月31日

[R5.目標額 494,000円]

(1世帯あたり 目安額：300円)

歳末たすけあい募金は、一関市社会福祉協議会、民生児童委員協議会と連携し、川崎地域の高齢者やひとり親世帯、障がい者世帯などの支援を必要とする人たちが、安心して笑顔で新たな新年を迎えられるように、配分金として届けられます。



社協会費

ありがとうございました



皆様からお寄せいただきました会費は、安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指す地域福祉事業へ役立たせていただきます。

令和5年度にご協力いただいた内訳は次のとおりです。

**川崎地域社協会員 1,076世帯
会費 1,076,000円**

～まごころ寄付～

皆さまからいただきましたご寄附は、地域福祉事業に役立たせていただきます。

(令和5年3月16日～令和5年9月15日)

- ◆千葉 初代様(石蔵) 50,000円
- ◆小野寺 政光様(宮畑) 100,000円
- ◆伊藤 孝様(陳が森) 50,000円
- ◆千葉 友文様(折坂) 50,000円
- ◆石川 生様(高野) 50,000円
- ◆三浦 博文様(諏訪前) 50,000円
- ◆千葉 敬徳様(赤柴) 100,000円